

## 会 議 録

1. 会議の名称 高齢者保健福祉推進委員会
2. 開催日時 令和8年3月26日(木) 13時30分～15時00分
3. 開催場所 熊取ふれあいセンター4階 研修室
4. 議題  
案件1 令和7年度第2回地域包括支援センター運営部会についての報告  
  
案件2 その他  
第10期計画に係るアンケート調査の結果について(速報)
5. 公開・非公開の別 公開
6. 傍聴者数 0人
7. 審議等の概要  
案件1 令和7年度第2回地域包括支援センター運営部会についての報告  
○運営部会長、地域包括支援センターやさかより令和7年度熊取町地域包括支援センターやさか事業報告について説明  
○審議内容  
質疑、意見については以下のとおり。
  - ・短期集中予防型通所サービス C(ふれあい元気教室)は有意義な取り組みであり、今後も継続していただきたい。しかし、教室参加者が少ない時期があり、周知方法に改善する必要があるのではないか。  
→周知方法は課題であり、多くの方に参加いただけるよう広報誌などで今後も周知を続ける。
  - ・指定介護予防支援の一部を委託する指定居宅介護支援事業所の新規指定(パートナー恵)  
→委員の拍手により承認  
案件2 その他  
第10期計画に係るアンケート調査の結果について(速報)  
○事務局より第10期計画に係るアンケート調査の結果について(速報)について説明  
○審議内容  
質疑、意見については以下のとおり。
  - ・アンケート結果をクロス調査する前に有意差の検定を行うのか。

有意差の検定を行うことで、課題がより明確になるのではないかと。  
→有意差の検定は行わないが、大阪公立大学に介護予防事業の効果の研究を委託しており、その結果を基に検討していく。

・高齢者実態調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)について  
問5「地域での活動について」とあるが、町の取り組みについて、どの程度認知度があり、参加したい、参加していると回答しているのか教えてほしい。  
→現在集計中であり、集計後完了後提示していく。

・熊取町在宅介護実態調査について  
「主な介護者について」Q5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答くださいの結果からニーズが多い項目(外出の付き添い、送迎等)に関して、介護サービスで対応可能か、不可能であれば新たに等について、ご回答くださいサービスを作るのか、今回のアンケート結果をどのように活かすのか教えてほしい。  
→ニーズが多いものに関しては、介護サービスでは賅えず、介護保険サービス外での対応になるため、地域の協力が必要になる。

・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の認知度が低いのが残念である。  
→認知症事業、医療介護連携事業を進めていくなかで、周知を引き続き行う。

・終活ノートを配付後、正しく記入しているかの確認を行政が行っているのか。  
→確認する機会はない。  
終活のノートは、本人だけでなく、家族などと共に記入し伝えることが重要。また何度も書き直すことも可能であるため、定期的に見直す必要性を周知する。

8. 審議会の情報	名称	高齢者保健福祉推進委員会
	根拠法令等	附属機関条例 高齢者保健福祉推進委員会規則
	設置期間	平成18年4月1日～
	所掌事項	(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定又は見直しに係る調査及び検討に関する事務、並びに目標達成状況の点検及び進捗管理に関する事務。 (2) 地域密着型サービスを提供する事務所の指定やサービスの指定基準及び介護報酬の

設定等地域密着型サービスの運営に関する事務。

(3) 地域包括支援センターの適切な運営、公正中立性の確保、その他センターの円滑かつ適正な運営に関する事務。

委員数

18名以内

9. 担当課

介護保険課